



やなぎっ子

社会の勉強

校長 五十嵐 公明

「川越城と江戸城は深い縁があり、江戸城の建物が移築されています。3代将軍徳川家光の誕生の間と言われている部屋、家光の乳母春日野局の間が移築されています。江戸城は、火事や地震で現存しませんから、とても貴重な物です。(川越博物館の所員)」

「へえー！（6年生）」

校外学習で川越城のジオラマ（模型）の前で説明を受けた時の子どもたちの反応です。まだ、社会の学習で江戸時代までは学習していませんが、江戸時代のとても大切な資料だということは感じてくれたようでした。

6年生と私たちは、6月10日（木）に校外学習として、川越博物館、昭和館、科学技術館を見学して参りました。川越では、火事から学んだ大火事を防ぐ蔵造の工夫などを学習しました。

昭和館では、日の丸弁当や闇市の紙の入った雑炊のレプリカを見て6年生は戦中（7階）や戦後（6階）の昭和の様子をどのように感じたでしょうか。科学技術館の班行動では、どの班も協力して様々な体験をしていました。

今回の校外学習は、国会議事堂には入れないので延期という考えもありました。しかし、昨年度、延期した校外学習ができずに我慢の1年を過ごしましたので、6年生の先生方と相談し、実施できる時に実施することしました。国会議事堂は個人でも見学できますが、6年生の思い出は今しかないと考えました。

学校へ戻る前、バスガイドさんが大河ドラマ「青天を衝け」で大老井伊直弼が暗殺された皇居の桜田門や国会議事堂、警視庁、最高裁判所、イギリス大使館、東京駅（レンガは、渋沢栄一の会社との説明あり）など、多くの説明をしてくださり、子どもたちは「イギリスの旗があった！」とか「おー！」とか、ガイドさんの話によく反応していました。首都高速を降りて、学校が近づいて来た頃、ガイドさんが最後の挨拶をこのように言っていました。

「本日は、〇〇観光バスを御利用いただきましてありがとうございます。ガイドさんも久しぶりに学校の皆さんと御一緒できて、とても楽しかったです。……。」

コロナ禍、我慢の状況で久しぶりに見学や体験ができた6年生、久しぶりに学校を案内して楽しかったと言ってくれたガイドさん。みんなが我慢していた。これも社会の勉強だと感じました。